

行政連絡員集会を開催

平成27年度の行政連絡員集会を4月17日から4月24日にかけて町内4箇所で開催しました。集会では、町長から今年度の施政方針の説明、各部長から各部の重要施策の説明が行われました。その後、行政連絡員さんから町の施策に対する質疑や貴重なご提言をいただきました。

行政連絡員は、町の非常勤特別職の職員として町行政と住民との連絡調整や広報などの文書の配布・回覧を行っていたただく方です。今年度、各行政区（自治会等）で選任された自治会長さんなど274名の方が行政連絡員に委嘱されました。（写真は橘地区）



ソーラーカーをつくったよ

体験活動などを行っている東和地区の「なぎさクラブ」で、4月25日、ソーラーカーを作る講座が開かれました。

町文化交流センターで開かれた今回の講座には、小学生12名が参加し、地球の温暖化について講義を受けた後、ソーラーカー作りに取り組みました。

組み立てた車体に太陽電池を取り付け、勢いよく回る車輪に子どもたちは大喜び。環境の事を考える良いきっかけとなりました。

地域おこし協力隊 三浦宏之

「お役に立てれば、幸いです。」 27

定住促進協議会日良居分室

☎0820(73)0234

「なんか面白いことないかなあ」というのが東京に暮らしていた時の口癖。いつも何かを探していました。周防大島に暮らしはじめてからは退屈している暇がありません。

「三浦君、海行こうや」と電話をいただき、漁業者のお手伝いでワカメ採り。「三浦君、山行こうや」と誘われれば、タケノコ掘りやシイタケの植菌。通

りすがりの畑ではタマネギ収穫のお手伝い。自分の畑でも草刈りや種まきがはまりました。冬の眠りから覚めたような春らしい忙しさです。労働と捉えれば苦しくなりますが、憧れの田舎暮らしのアクティビティと考えれば楽しくなってきました。東京では感じることの無かった種類の季節感が周防大島の暮らしの中にあります。イワシ網がはじまり、家々の軒先に梅が干しているのを見ると6月を感じる方もいるでしょう。

広報4月号でもお知らせしま

したが、周防大島町定住促進協議会が年3回行なっている移住希望者向けの町内案内ツアー「島時々半島ツアー」が5月16日〜17日で開催されます。どんな理想を持って島を訪れるかは人それぞれですが、移住希望のみなさんと島の暮らしについてお話してみませんか？

5月16日(日)午後3時30分よりツアー参加の皆さんと一緒に西三浦・西の浜の海岸清掃を行いますので、この現場でも汗を流しながら、周防大島について語り合います。多くの方にお集まりいただけたら幸いです。



▲春の大潮、ワカメ採りの船から眺める大島大橋